

(第1号議案)

令和3(2021)年度フードバレーとちぎ推進事業実施状況

1 ネットワーク形成支援

第1次産業から第3次産業までの事業者及び支援機関、関係団体、産学官連携等のネットワーク形成を図った。

(1) フードバレーとちぎ推進協議会総会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に鑑み、書面での開催をした。

(2) コーディネーターの配置

コーディネーターを(公財)栃木県産業振興センターに2名配置し、新たな事業を展開する際の各種の相談やマッチングを234件実施した。

2 情報発信事業

メールマガジンの発行や、フードバレーとちぎ推進協議会ホームページの積極的な活用等により、“フードバレーとちぎ”の取組や会員の商品情報等を全国に向けて発信するとともに、新商品・サービス等の開発や販路開拓・拡大、会員間の連携促進を図った。

(1) フードバレーとちぎ推進協議会ニュースの配信

メールマガジンの発行 43回(累計669回 H23(2011)1.21～)

(2) 協議会ホームページの活用

研究部会活動や「ヒット商品創出支援事業」等各種講習会の開催案内を掲載した。

フードバレーとちぎ専用ホームページアドレス
<https://foodvalley-tochigi.jp/>

3 人材育成・確保支援事業

食品の衛生管理や適正表示等に関する知識を習得するための講習会を開催し、人材の育成を図るとともに、県内大学等の協力のもと、食品関連企業の企業概要説明会の開催により、有用な人材の確保を支援した。

(1) 食品の衛生管理や適正表示等に係る講習会の開催

①食品表示に関する講習会

生活衛生課が運営する YouTube（とちまる食の安全通信）に営業者向け食品表示に関する講習会の内容を掲載した。（R3(2021).9.13）

- 掲載内容
- ・食品表示全般について
 - ・新たな遺伝子組換えの表示について
 - ・加工食品の原料原産地表示について
 - ・計量法における商品量目制度

(2) 企業概要説明会の開催

①とちぎ求人企業合同説明会

- ・開催日 令和3(2021)年9月13日(月)
- ・開催場所 マロニエプラザ

②宇都宮大学

- ・開催日 令和4(2022)年2月14日(月)～2月16日(水)
- ・オンライン開催

③帝京大学

- ・開催日 対面型：令和4(2022)年2月7日(月)～2月10日(木)
オンライン：令和4(2022)年2月14日(月)～2月17日(木)
- ・開催場所 帝京大学 宇都宮キャンパス

④足利大学

- ・開催日 令和4(2022)年3月8日(火)～3月10日(木)
- ・オンライン開催

⑤県央産業技術専門学校

- ・開催日 令和4(2022)年3月4日(金)及び8日(火)
- ・オンライン開催

⑥関東職業能力開発大学校

- ・開催日 令和4(2022)年1月29日(土)～1月30日(日)
- ・オンライン開催

⑦小山工業高等専門学校

- ・開催期間 令和4(2022)年2月16日(水)～3月6日(日)
- ・専用サイトへの企業情報掲載

4 商品開発・技術開発支援事業

(1) 研究部会の開催

本県の強みを活かした食品の加工や、機能性を持った高付加価値食品の開発等、社会ニーズに対応した発展可能性のある分野の技術シーズについて研究部会を開催し、産学官連携による新商品・新技術開発を支援した。

○高機能・高付加価値食品開発研究部会

(部会員数 244 企業・団体) 《全2回開催》

開催日	内容	参加者数
R3(2021).7.16	(第1回部会) ○基調講演 「AIシステムを活用した事例紹介と最近のポテトチップス開発秘話」 カルビー(株) マーケティング本部 商品1部3課 課長 山本 千夏 氏 ○令和2年度活動報告及び令和3年度事業計画について ○情報提供	15 企業・団体 (20 名)
R4(2022).2.4	(第2回部会) ○基調講演 「コロナ禍における百貨店の取り組みと人を魅了する商品」 (株)高島屋 タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店 店長 篠崎 剛 氏 ○成果発表 (株)上原園、T・N・Bファーム(株)、(株)ふ〜でゅ〜す、	17 企業・団体 (25 名)

	<p>アイファーム、(株)波里、藍百姓 藍松、(有) マルト モ食品</p> <p>○情報提供</p> <p>○試作品等検討会</p> <p>アドバイザー：(株)高島屋 タカシマヤ フードメ ゾン おおたかの森店 店長 篠崎 剛 氏</p>	
--	--	--

ア おいしさの見える化分科会

(分科会員数 189 企業・団体) ≪全4回≫

開催日	内容	参加者数
R3(2021).7.16	<p>(第1回分科会)</p> <p>○令和2年度活動報告及び令和3年度事業計画 について ※第1回研究部会と同時開催</p>	15 企業・団 体 (20 名)
R3(2021).8.24	<p>(第2回分科会)</p> <p>○基調講演 「保健機能食品について」 (株)グローバルニュートリショングループ 代表取締役 武田 猛 氏</p> <p>○情報提供</p>	24 企業・団 体 (33 名)
R3(2021).11.19	<p>(第3回分科会)</p> <p>○基調講演 「商品開発と分析の深い関係ー食品分析の2つ の目的、「おいしさを伝える」と「商品特性 を明確にする」について、茶系商品の事例か らー」 三井農林(株) R&D 本部長 鈴木 壯幸 氏</p> <p>○情報提供</p>	19 企業・団 体 (33 名)

R4(2022).2.4	(第4回分科会) ○成果発表 ○試作品等検討会 ※第2回研究部会と同時開催	17企業・団体(25名)
--------------	--	--------------

イ 品質保持技術分科会

(分科会員数 115企業・団体)《全4回》

開催日	内容	参加者数
R3(2021).7.16	(第1回分科会) ○令和2年度活動報告及び令和3年度事業計画について ※第1回研究部会と同時開催	15企業・団体(20名)
R3(2021).8.24	(第2回分科会) ○基調講演 「食品品質保持技術・賞味期限延長と加速試験」 横山技術士事務所 所長 横山 勉 氏 ○情報提供	24企業・団体(33名)
R3(2021).11.19	(第3回分科会) ○基調講演 「液化窒素式食品凍結装置について」 大陽日酸(株)工業ガスユニット ガス事業部 営業開発部 営業開発課 担当課長 澁谷 尚男 氏 ○情報提供	19企業・団体(33名)
R4(2022).2.4	(第4回分科会) ○成果発表 ○試作品等検討会 ※第2回研究部会と同時開催	17企業・団体(25名)

(2) フードバレーとちぎ重点共同研究の実施

実用化・波及効果が期待できるテーマについて、共同研究を実施した。

- ・テーマ 「夢ささら」の原料米特性に関する研究
- ・実施体制 栃木県酒造組合、産業技術センター

(概要) 「夢ささら」の原料米特性を明らかにするため、製成酒の味の見える化や、精米歩合が製成酒の味に与える影響を研究し、「夢ささら」は山田錦と比べて旨味が強いことを見出した。

(成果) 「夢ささら」製成酒は山田錦と比べてアミノ酸分析や味覚センサーでも旨味成分が高い傾向があった。また、低精米ほど旨味が強いという特徴が強く現れることが分かった。

今後、これらの結果を活用し、「夢ささら」の良さを最大限に引き出した新商品を開発するため県内蔵元にて実地醸造を行っていく。



(3) 各種助成事業の実施

① フードバレーとちぎ農商工ファンド活用助成事業

○概要 本県の豊富な農産物等を活かした中小企業者等と農林漁業者との連携による取組に対して助成した。

- ・応募期間 令和3(2021)年6月23日～7月28日
- ・助成件数 7件

助成事業者	事業区分	事業内容
(株)シトロン 6月の森農業 生産法人ブルーベリーファーム(有) (株)アンジュレーブ	新商品等開発 支援事業	QC工程及びハサップに基づいた製造工程の見直しや品質管理を行い、大豆の健康を考慮した商品や、県産食材を活用したギフトの試作開発を行うとともに、香港輸出用ロングライフギフト品を作り輸出の拡大につなげる。
(株)かなめ 屋代幸子	新商品等開発 支援事業	黒羽須賀川地区の地域資源である「ゆず」を主原料として、生産量日本一を誇る「とうがらし」を活か

		し、幅広い料理用途に使える「須賀川地区」ならではの調味料「ゆずこしょう」の試作を行う。
(株)フードサ ヤカ 根本農園	新商品等開発 支援事業	栃木県産トマトと大田原黒毛和牛を使用し、トマト煮込みハンバーグ等の総菜パック商品の試作開発に取り組み、百貨店向け贈答セットの商品ラインナップ増を目指す。
(株)田中永吉 商店 石川いちご園	新商品等開発 支援事業	栃木県産のいちごを使い、常温保存可能で賞味期限の長い洋菓子の試作開発に取り組み、食品ロスの解決のため賞味期限が長く廃棄率が低い商品開発を行うことで、コロナ禍の非対面販売に対応する。
(株)静風 館野いちご園	販路開拓支援 事業	「とちおとめ」を活用した新商品の販路開拓に取り組む。 「第19回デザート・スイーツ&ベーカリー展」
(株)日光食品 齋藤茂夫	販路開拓支援 事業	日光ブランドゆばと大根を用いた人気「和総菜」の販路開拓に取り組む。 ※展示会 「日本アクセス春季フードコンベンション2022西日本」 「スーパーマーケット・トレードショー2022」
(株)野州たか むら (株)カクタ花 農場	販路開拓支援 事業	栃木県産スイートピーを活用したキャンディの販路開拓に取り組む。 ※展示会 「第31回グルメ&ダイニングスタイルショー春2022」 「FOODEX JAPAN 2022」

②とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業（フードバレー関連）

- 概要 要 中小企業者等の創業、新商品開発、販路開拓等の取組に対して助成した。

- ・ 応募期間 令和 3 (2021)年 6 月 1 日～ 6 月 30 日
令和 3 (2021)年 10 月 15 日～11 月 12 日 (二次)
- ・ 助成件数 4 件

助成事業者	事業区分	事業内容
第一酒造 (株)	技術高度化助成事業	海外輸出とインバウンドを目指した「ヴィンテージ」発泡性清酒の開発
(株) 大麦工房ロア	販路開拓支援事業	第 5 回 “日本の食品” 輸出 EXPO
(株) 日光食品	販路開拓支援事業	春季フードコンベンション 2022 東日本への出展による「おからサラダ」の販路開拓
(有) ウィンウィン	販路開拓支援事業	スーパーマーケット・トレードショー2022 の出展に伴う販路開拓助成

③アグリフードビジネス支援事業

○概 要 農地所有適格法人等による農産物加工の研究開発や設備整備、販路開拓等 6 次産業化に向けた取組に対し助成した。

- ・ 応募期間 令和 3 (2021)年 6 月 15 日～ 7 月 13 日 (一次)
令和 3 (2021)年 9 月 3 日～ 9 月 27 日 (二次)
令和 3 (2021)年 11 月 1 日～11 月 18 日 (三次)
- ・ 助成件数 3 件

助成事業者	事業内容
ロイヤルベリーズファーム (有)	電気乾燥機、食品粉砕機導入によるワインの絞りかすを使用した粉末の製造・販売
株式会社土光水 (のうか)	自社生産の米を使用した冷凍味付きシャリ玉の製

	造・販売
株式会社エイジェックファーム	自社生産の野菜を使用したジェラートの製造・販売

④ 6次産業化交付金施設整備事業

- 概要 6次産業化法認定法人等に対し、計画の目標達成に必要な大規模加工施設・機械等の導入を支援する。 ※該当なし

⑤ 戦略食品競争力強化支援事業【新規】

- 概要 食品関連企業の生産性向上のための設備導入を支援した。
- ・応募期間 令和3(2021)年4月8日～5月31日
 - ・交付決定 6者

交付先	事業内容
(株)大麦工房ロア	栃木県産の二条大麦を使用した大麦テリーヌ量産プロジェクト
小林酒造(株)	ジュール熱殺菌システム用の樹脂ボトルに対応する生産ラインの導入
(株)すが野	刻み生姜小袋製品の手計量包装から自動計量包装ライン導入による生産性・コスト競争力強化を図る
(株)静風	「フリーズドライいちご菓子」の生産性向上に向けたチョコレートコーティング自動装置の導入
(株)壮関	国産干し芋製品増産事業計画
丸彦製菓(株)	最新あられ自動供給機の導入による海苔巻き米菓の生産能力・市場競争力強化事業

(4) ヒット商品創出支援事業【新規】

フードバレーの取組で支援してきた商品を対象に、工程別に特化した専門家を派遣し、必要な要素・工程から伴走支援することで、商品のブラッシュアップや販路開拓、広報戦略等の支援を一貫して行った。

① セミナー及び個別相談会

- ・開催日 R3(2021) 7月19日(月)

- ・参加者：セミナー（講師1名）・・・37企業54名
：個別相談会（専門家2名）・・・11企業・団体13名



セミナー開催 7月19日

②専門家派遣 延べ14社

事業名	支援対象企業	参加事業者
専門家ハンズオン支援	10社	(有)ウインウイン、(株)椿屋、(株)パン・アキモト、(有)とん太ファミリー、moon breeze、栃木乳業(株)、吉岡食品工業(株)、(株)日本栄養給食協会、日本ポーチフレーバー(株)、(株)野州たかむら
大手企業とのコラボ支援	4社	(有)とん太ファミリー、(株)椿屋、(株)野州たかむら、(株)まるつね

③テストマーケティング 3ヶ所

(東京：JR上野、日比谷 OKUKUJI、とちまるショップ)



日比谷 OKUKUJI 2月10日実施

(5) 企業間連携促進事業【新規】

食品製造業者や農業者、機械製造業者、小売業者、ホテル・レストラン等、多様

な業種で構成される会員のニーズやシーズ等のマッチングを行うなど、異業種間の連携を図ることにより、新商品やサービス等の創出を促進した。

○ビジネスマッチング交流会

- ・開催日 令和3(2021)年12月10日(金)
- ・参加企業 38企業・団体60名
- ・講演
演題 「共生型『食』産業の可能性」
講師 (株)アオキシントック 代表取締役 CEO 青木 圭太氏
- ・ビジネスプラン提案事業者 14者 ※継続マッチングフォロー実施中



(6) 機能性表示食品等開発・販売支援事業

保健機能食品の普及啓発を図るとともに、機能性表示食品や栄養機能食品の開発と販売を支援した。

①保健機能食品セミナーの開催（おいしさの見える化分科会と合同開催）

- ・開催時期 令和3(2021)年8月24日(火)
- ・参加者 24企業・団体33名

②ステップ別実践講座の開催 ※オンラインセミナー

- 第1回 商品開発・データ収集 令和3(2021)年10月5日 参加者：8企業・団体9名
- 第2回 届出手続 令和3(2021)年11月9日 参加者：2企業・団体3名
- ※専門家による個別相談会の実施（第2回同時開催）・・・参加会員数：1企業

(7) 土地利用型園芸フル加速化事業【一部新規】

- ・契約取引専門家の現地派遣やセミナーの開催（14回）、農地の団地化や生産機械・施設整備等への支援による産地育成（22地区）を推進した。
- ・産地の販路拡大を図るため、複数の産地が連携し、一次加工等を行うなど、取引先との新たなサプライチェーンを構築する取組（1地区）を支援するとともに、

加工・業務用野菜に関する関係者の情報交換等を実施（14回）した。

（8）地域6次産業化ネットワーク推進事業

地域における農商工関係者の連携・交流を促進するため、共同開発に向けた課題解決研修会を開催するなど、6次産業事業化を目指すネットワークづくりを支援する。※該当なし

（9）6次産業化サポートセンター運営事業

6次産業化実践アドバイザーの登録や派遣等、6次産業化の取組を総合的に支援する拠点として、「栃木6次産業化サポートセンター」を運営するとともに、6次産業化を実践する人材を育成するための研修会を開催した。

① 6次産業化実践アドバイザーの登録（商品開発、マーケティング、食品衛生等の専門家）

○22名登録

② 支援対象者へのアドバイザー派遣

○5名採択、R2-3年度計11名に対して派遣

③ とちぎ6次産業化実践セミナーの開催（実践事例、衛生管理、商品開発等）

○参加者22名 講座6回、インターンシップ4回

（10）6次産業化交付金研究成果利用促進事業

多様な主体が有する研究開発成果を活用した新たな高付加価値商品等の創出及び事業化の促進を支援する。※該当なし

5 販路開拓支援事業

展示商談会への出展、各種助成事業等により、県内をはじめ国内外における販路開拓・拡大を支援する。

（1）各種助成事業の実施（詳細は、P6に記載）

① フードバレーとちぎ農商工ファンド活用助成事業

② とちぎ未来チャレンジファンド活用助成事業（フードバレー関連）

（2）国内で開催される展示商談会等への出展支援等

① 支援対象展示会等

名称・開催日・場所	参加企業数	商談等の実績
・デジタル販路開拓支援事業【新規】 ・R3（2021）.9.27～10.1	18事業者	商談件数：77件 成約件数：13件

・オンライン開催		
・とちぎのいいもの商談会 ・R3(2021).12.1～2 ・都道府県会館	19 事業者	商談件数：88 件
・フードストアソリューションズフェア 2021 ・R3(2021).12.2～3 ・インテックス大阪	6 事業者	成約件数： 調査中
・とちぎのいいもの商談会 in 大阪 ・R4(2022).2.8～9 ・オンライン開催	34 事業者	商談件数：70 件 成約件数：2 件
・スーパーマーケットトレードショー 2022 ・R4(2022).2.16～18 ・幕張メッセ	14 事業者	成約件数： 調査中
・FOODEX JAPAN2022 ・R4(2022)3.8～11 ・幕張メッセ	12 事業者	成約件数： 調査中



SMTS (スーパーマーケットトレードショー 2022)



いいもの商談会 in 東京

②県アンテナショップ(とちまるショップ)を活用したテストマーケティング等の実施

○チャレンジ販売商品 実施結果

- ・第1四半期分 会員実績なし〔食関連企業：1事業者2商品(継続中)〕
- ・第2四半期分 実績なし
- ・第3四半期分 会員実績なし〔食関連企業：3事業者6商品(内3商品継続)〕
- ・第4四半期分 実績あり〔食関連企業：4事業者7商品(内3商品継続)〕

出品会員名	商品名	販売状況
(有)かわしまや製菓	二度漬けたまり醤油	販売継続
	二度漬けたまり醤油とうがらし	販売終了
	二度漬けたまり醤油わさび	販売終了

出品会員名	商品名	販売状況
(株)エイジェックファーム	熟成黒たまチップス	販売継続
	熟成黒たまパウダー	販売継続

(3) 海外で開催される展示商談会等への出展支援等

①見本市等への出展支援

- ・ Food Expo2021 8月 香港 →出展中止
- ・ 国際見本市（欧州地域）出展 10月 欧州 →出展中止
- ・ 国際見本市（米国）出展 2月 米国 →出展中止

※コロナウィルス感染症の影響により出展を中止した

②海外販路開拓の支援

名称・開催日・場所	参加企業数	商談等の実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外バイヤーとのオンライン商談会（欧州地域、東アジア・アセアン地域） ・ 11月以降随時 ・ オンライン 	<p>【申込み】</p> <p>36社（栃木：31社、群馬：5社）</p> <p>【商談】</p> <p>15社（栃木：14社、群馬：1社）</p>	<p>商談件数：26件</p> <p>成約見込：13件</p> <p>成約見込額：14,310千円</p> <p>成約：0件</p> <p>※R4.3.24時点</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内輸出商社との商談会 ・ R3（2021）.12.1～2 ・ 都道府県会館（オンラインも活用） 	8社	<p>商談件数：23件</p> <p>成約見込：16件</p> <p>成約見込額：1,850千円</p> <p>成約：0件</p>



（国内輸出商社との商談会・商談の様子）



(国内輸出商社との商談会・展示スペースの様子)

(4) 在県外国人（欧州・北米地域）テストマーケティング

欧州・北米地域での販路開拓を目指す県内食品関連企業が、当該地域の消費者の嗜好性や食文化を把握し、効率的な商談や商品開発等が行えるよう、欧州・北米地域出身の在県外国人による試食及び評価（テストマーケティング）を実施する。

→中止 ※コロナウィルス感染症の影響により実施を中止した

(5) 海外販路開拓部会「海外ビジネスチャレンジ塾」の開催【新規】

食品関連企業の中で、すでに海外に販路を持っている企業や、これから海外販路を検討している企業が共に参加し、知識の習得、情報交換を実施することで、共同の取組や新商品開発等につなげる取組を行った。

- ・設 置 平成 26(2014)年 6 月 12 日
- ・会 員 数 95 企業・団体 (R4.3.28 現在)
- ・活動内容 企業の掘り起こし、貿易知識の習得、国際見本市等への出展、輸出商品の開発、研究会の設置
- ・開催実績 各種セミナーの他、輸出の基礎知識習得から実践的な商談まで一貫したサポートを行う連続講座「海外ビジネスチャレンジ塾」の開催

開催日	内 容	参加者数
R3. 6. 14 (月)	海外ビジネスチャレンジ塾第1回セミナー 【輸出基礎編】	15 者
R3. 7. 9 (金)	海外ビジネスチャレンジ塾第2回セミナー 【商品 PR 編】	17 者
R3. 8. 2 (月) R3. 8. 4 (水) R3. 8. 6 (金)	海外ビジネスチャレンジ塾第3回セミナー 【商談編】	16 者

(6) 海外販路開拓・拡大支援事業（補助金）【新規】

○概 要 海外見本市等への出展及び海外向け商品の改良等に対して助成する。

- ・応募期間 令和3（2021）年4月16日（金）～5月31日（月）
- ・助成件数 6件

助成事業者	事業区分	事業内容
渡邊酒造（株）	海外電子商取引事業、海外向け商品開発・改良事業	外国語版ホームページ作成、輸出の核となる製品の開発
西堀酒造（株）	海外見本市等出展支援事業、海外向け商品開発・改良事業	海外向けラベル・パッケージデザインの作成、海外向け SNS アカウント開設・発信等
（株）外池酒造店	海外電子商取引事業、海外向け商品開発・改良事業	多言語のウェブサイト・コンテンツ等の構築
（株）北研	海外電子商取引事業	菌床シイタケ栽培の工程や資機材の紹介動画（英語）制作
（株）壮関	海外電子商取引事業	米国 EC モール（e' s Japan' ）に出店
（株）波里	海外電子商取引事業、国際規格・認証取得事業	自社製品差別化をするためノングルテン米粉の製造工程管理取扱者認証を取得等

(7) 香港におけるとちぎの地酒販路開拓支援事業

香港における日本酒ブームの機会を捉え、オンライン商談会及びとちぎの地酒ブース出展を通じて、香港へ日本酒等を輸出しようとする県内の酒蔵等の販路開

拓を支援した。

①オンライン商談会

開 催 日：令和3(2021)年11月25日

参加酒蔵等：6社

実 績：成約2社、成約見込み2社

②とちぎの地酒ブース出展

開 催 日：令和4(2022)年1月8日～2月5日

出 展 地：「一田」元朗店（1月8日～2月5日）

「八百萬屋」（1月14日～2月5日）

(8) 食品産業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業費【新規】

○概 要 輸出先のニーズに対応した HACCP 等の基準を満たすための施設の整備等を支援した。

・補助実績 1社〔(株)壮関〕

(9) デジタル販路開拓支援事業【新規】

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「新しい生活様式」に対応した非対面型のオンライン商談会を開催した。

・実施時期 令和3(2021)年9月27日～10月1日

・参加者 17事業者

(10) 東京事務所（とちぎのいいもの販売推進本部）への販路開拓専門員の設置

元バイヤー等食品流通に精通した「販路開拓専門員」を配置し、職員と連携して戦略的な売込みを実施した。

○訪問数 340件

(11) 県産品関西圏販路開拓事業

関西圏における食品の市場調査等を実施するとともに、フードバレーとちぎ推進協議会内に、新たに関西圏販路開拓部会を設置し、新商品開発等の調査研究を実施するとともに、これらの調査研究を踏まえた商談会を大阪で開催し、関西圏

への販路開拓を促進した。

①販路開拓セミナー、調査研究会の開催

○開催日、参加者数

- ・販路開拓セミナー 令和3(2021)年11月11日、参加者7者(オンライン併催)
- ・調査研究会① 令和3(2021)年9月8日、参加者6者
- ・調査研究会② 令和3(2021)年11月11日、参加者7者(オンライン併催)
- ・調査研究会③ 令和4(2022)年3月10日、参加者5者(オンライン併催)

②フードストアソリューションズフェア2021への出展支援

○開催時期 令和3(2021)年12月2日～3日

③とちぎのいいもの商談会 in 大阪の開催

○開催時期 令和4(2022)年2月8日～9日(オンラインにより開催した)

(12) とちぎの酒海外展開促進事業

県産日本酒の海外販路開拓を促進するため、県内蔵元とともに現地プロモーション等を実施した。

①米国

- ・ロサンゼルスでのトップセールス、商談会の実施 →実施中止

②ベトナム

- ・オンラインによる商談会、現地プロモーションの実施 →実施中止

※新型コロナウイルス感染症の影響により実施を中止した。

(13) 県産農産物パートナーシップ構築推進事業【新規】

①首都圏における県産農産物活用推進事業

「選ばれる栃木の農産物」を実現するため、首都圏の卸売市場関係者とのパートナーシップを構築し、SNSを活用した情報発信や県産農産物を使用した統一したメニューキャンペーンを展開した。

- ・「首都圏における栃木県産農産物活用推進協議会」の設置(令和3(2021)年7月)
- ・メニューフェア3回(のべ36店)

②関西における県産農産物魅力発信事業

大阪市内の飲食店等における県産農産物メニューフェアや商業施設における情報発信等を展開した。

- ・メニューフェア 1 回（12 店）
- ・店舗でのプロモーション（3 店舗）

(14) とちぎ農産物戦略的輸出拡大事業【一部新規】

①輸出産地・生産者拡大支援事業

○輸出産地トータル支援事業費【新規】

輸出基礎セミナーの開催、専門家の派遣や輸出入事業者とのマッチング、販売促進活動や品質向上の取組等、輸出に取り組む段階に応じて生産者を支援した。

- ・セミナー開催 4 回、専門家派遣 4 者、品質向上の取組支援 2 者

○牛肉輸出産地拡大事業【新規】

牛肉輸出産地拡大のための調査分析・分析に基づく対応策を作成した。

○コメ輸出拡大支援事業【新規】

輸出用米の生産から販売までの取組を一体的に支援した。

- ・生産支援 6 者、販売支援 2 者

○いちご輸出先進技術導入実践事業

鮮度保持・特殊梱包輸送資材等の導入を支援する。

- ・特殊梱包輸送資材の導入支援 3 者

○なし輸出産地育成対策事業

輸出先国の検疫条件に対応するための産地の取組を支援した。

- ・検疫対応支援 2 者

②輸出先国別戦略的販路拡大事業

○東南アジア・香港輸出力強化事業

輸出先国（タイ、ベトナム、香港、マレーシア、シンガポール、インドネシア、カンボジア）の情勢に応じたプロモーション等を実施（11～2月）。

○アメリカ牛肉フルセット輸出拡大事業

とちぎ和牛の新たな部位の輸出を拡大するため、米国の見本市に出展（2月）

○北関東 3 県広域連携事業

北関東 3 県連携による U A E における梨（にっこり）のプロモーション

- ・巨大モールでの販促（3 店）、飲食店（2 店）

○知的財産対策

- ・いちご新品種等の知的財産を保護するための海外での商標出願等

(15) 土地利用型園芸フル加速化事業 ※ 詳細は、P11 に記載

6 企業立地支援事業

フードバレー関連企業への優遇措置を設けた各種助成事業の活用などにより、食品関連企業誘致のためのインセンティブを強化し、食品関連企業の集積拡大を促進した。

(1) 各種助成事業の活用

① 栃木県企業立地・集積促進補助金

○実績 4件

② 栃木県産業定着集積促進支援補助金

○実績 1件

(2) 地域未来投資促進法に基づく栃木県基本計画

事業実施にあたって各種優遇措置を受けるために必要な「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」（地域未来投資促進法）に基づく事業者の「地域経済牽引事業計画」の策定支援及び承認

○実績 なし

7 資金調達支援事業

食品関連産業の円滑な資金調達を支援するため、「重点政策推進融資」及び「栃木県農業ビジネス保証制度資金」による融資を実施した。

① 産業政策推進資金

○実績

なし

② 栃木県農業ビジネス保証制度資金

○実績

9件 159,600千円